

国際政治学

講義5

国際政治分析のミクロ的基礎

早稲田大学
政治経済学術院
栗崎周平

1

国際政治分析のミクロ的基礎

広範な国際政治の現象・行動に柔軟に対応

3つの基本要素:

1. 利害関係 (Interests)

- アクター、その選好と与えられた情報の特定

2. 戦略的相互作用 (Interactions)

- ある国の行動は、他国の行動とその「予測」に依存し、国際政治現象は、複数国の行動の「集合」により帰結

3. 制度 (Institutions)

- Formal/Informal な制度: ゲームのルール²

国際政治のアクターと選好分析のミクロ的基礎

- 教科書のTable 2.1を参照
- 多種多様で分析目的に照らして設定
- 先入観ではなく経験的には複数目標を持つという視座

国家

- 力と生存 (現実主義)
- 経済的・物質的利益 (リベラリズム)
- 理念・規範的目標 (コンストラクティビズム)

3

国際政治のアクターと選好分析のミクロ的基礎

政治家・政策決定者 (政治指導者・政党・独裁者・野党)

- 再選 (民主国)
- 政治権力の維持
- 理念 (イデオロギー)
- 政策目標
- 国益

4

国際政治のアクターと選好分析のミクロ的基礎

企業・産業・経済団体

- 富
- 利潤
- 理念 (イデオロギー): 社会貢献・平和・
- 国益

階級・生産要素

- 物質的利益
- 富
- 社会的・政治的権力

5

国際政治のアクターと選好分析のミクロ的基礎

官僚・軍

- 予算最大化
- 政策 (決定過程) への影響力
- 政策選好
- 縄張り / 組織防衛

NGO・非国家主体 (教会、犯罪組織、エピステミックC)

- 規範・理念・イデオロギー
- 政策選好
- 利潤

6

国際政治のアクターと選好分析のミクロ的基礎

国際組織

- 加盟国の選好の集積
- 強国の力とその選好の反映
- 官僚機構と類似の選好
- NGOと類似の選好

7

国際政治における戦略的相互作用

「戦略的」相互作用

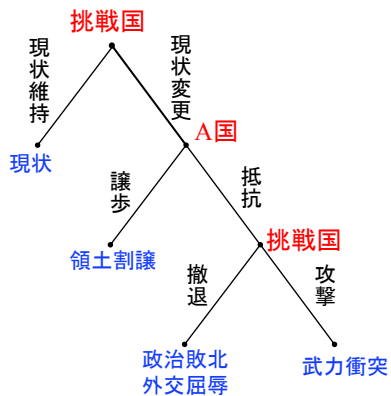
- 政治的帰結は、1国だけでなく複数国の行動の結果
- 各国は他国の行動を予測し、また他国はその「予測」を予測しながら行動する

戦略的相互作用の帰結

- 政治的帰結は意図せざる結果、パレート非効率な結果を生む傾向
- 合理的選択は、望ましい結果を保証しない
- 「悍ましい」最悪の選択が、次善の策になりうる
- 国際政治のパズルを生む

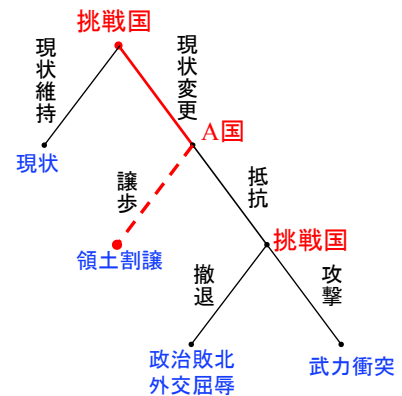
8

戦略的相互作用：国際危機



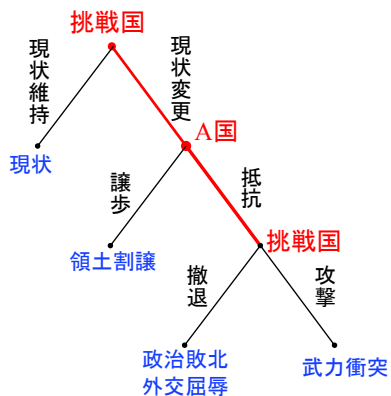
9

戦略的相互作用：国際危機



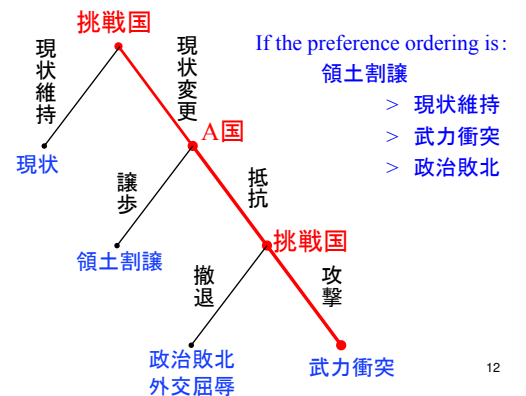
10

戦略的相互作用：国際危機



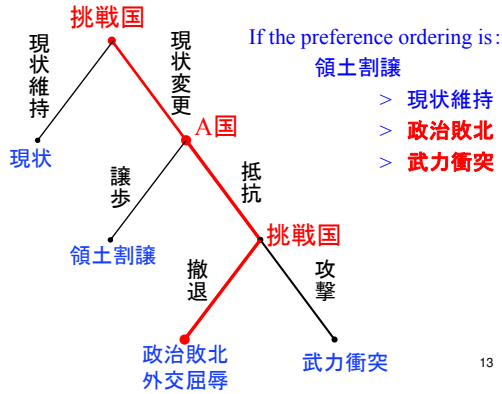
11

戦略的相互作用：国際危機



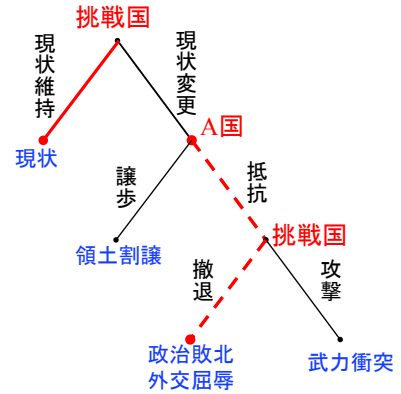
12

戦略的相互作用：国際危機



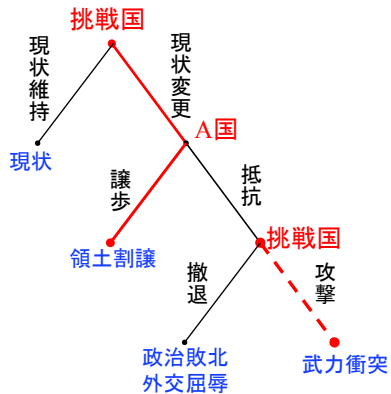
13

戦略的相互作用：国際危機



14

戦略的相互作用：国際危機



15

戦略的相互作用の類型

- 協力 cooperation
 - 協調 coordination
 - 協同 collaboration
- 交渉 Bargaining
 - 強制 Coercion
- 集合行為 Collective Action

16

戦略的相互作用：協力 Cooperation

「協力」の定義

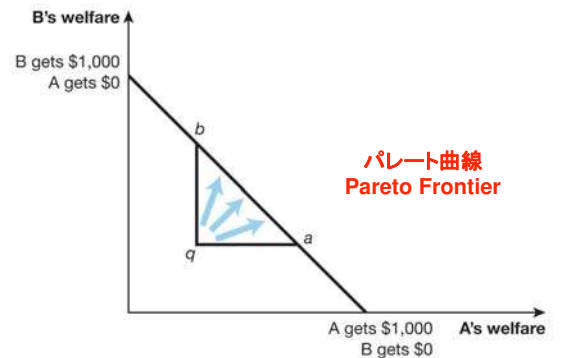
少なくとも1国が他国の利得を下げずに現状より利得を改善するような政策を複数国が採用・実施

「協力」の特徴

- 協力は付加価値を創出 ⇒ positive-sum ゲーム
- ゲーム理論：パレート改善 Pareto Improvement
 - 同盟と集団安全保障
 - 安定した通貨レジーム
 - 自由貿易
 - 地球環境の保全

17

戦略的相互作用：協力 Cooperation



18

戦略的相互作用：協力 Cooperation

- 協力は当該グループに利益をもたらす
- グループ外アクターには損失の可能性
 - 同盟と集団安全保障
 - ⇒ 共通の敵・安全保障への脅威
 - 安定した為替相場
 - ⇒ 為替操作・固定相場に利益を見出す国
 - 自由貿易
 - ⇒ 国際競争力のない国内産業・利益集団
 - 地球環境
 - ⇒ 重工業・化学産業には不利益

19

戦略的相互作用：協力 Cooperation

国際協力のパズル

もし国際協力が、positive-sum ゲームでパレート改善であるならば、なぜ国家間の協調・協力は困難なのか？

このパズルを解く手立てとしての協調・協力の分類

- Coordination 協調・調整
- Collaboration 協同・協働

20

戦略的相互作用：協力 Cooperation

Coordination 協調・調整

- 同一の政策を選択・実施することで利益を得る
- 政策協調を不履行（合意から逸脱）する誘因がない
 - 複数均衡（＝複数の政策選択肢）からの選択
 - 協力（政策協調）が一旦達成されると、自己強制的で安定
 - 一般的に達成は比較的容易
- 例
 - 航空管制の言語、右（左）側通行、G7開催地

21

戦略的相互作用：協力 Cooperation

Collaboration 協同・協働

- 同一の政策を決定し協同しての実施は利益を生む
- 政策の協同実施を不履行（合意から逸脱）する誘因
 - 均衡（実施政策）はただ一つだけ可能
 - 有益な結果の政策過程にはコストが伴う
 - ⇒ 協同からの一方的な逸脱への強い動機
 - 各国の逸脱誘因 ⇒ 集合的な利益の喪失
- 例
 - 軍縮、CO₂排出削減、集団安全保障

22

戦略的相互作用：協力 Cooperation

国際協力のパズル

もし国際協力が、positive-sum ゲームでパレート改善であるならば、なぜ国家間の協調・協力は困難なのか？

国際協力が困難な理由

- 国際協力は実現すれば、利益をもたらす
- しかし、協力を実現する過程において不和が生まれる
 - 政策協調には分配問題が伴う
 - 例：紛争終結と国家建設：力の分配で不合意→ 紛争継続
 - 政策の協同実施にはコストが伴う
 - 例：軍縮後の脆弱性、CO₂除去装置のコストと競争力問題³

戦略的相互作用：協力 Cooperation

協同問題としての、公共財問題

【公共財】とは、

- 利益享受の非排除性 (non-excludable)
財がある国家（だけ）に提供されても、他国も利益を得る
- 消費の非競合性 (non-rival)
ある国家が財を消費しても、その財の量は不変
- 例：安全保障 や 自然環境
- 公共財の供給には、集合行為問題が伴う
 - 他国による公共財提供の努力への「ただ乗り問題」
 - ただ乗り問題が、公共財提供の失敗を引き起こす

24

戦略的相互作用：協力 Cooperation

協力問題解決の3つの鍵（制度デザインの基礎）

- **小グループ**
 - メンバー間の監視・情報収集を容易にする
 - 特権グループによる自発的公共財搬出とその報酬（私的財）
- **繰り返しゲーム**
 - 賞罰メカニズム・非協力（逸脱）への制裁
 - リンケージによる疑似的繰り返し
- **情報収集と共有**
 - 制裁メカニズムの前提としての逸脱の特定

25

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉】の定義

- 一国の利益（創出）は他国の損失
- 交渉問題は、多くの場面で存在

【交渉】の解剖学

- ゼロサムゲーム **zero-sum game**
- 財の再分配の過程
- 「協力問題」と異なり、価値の創出は伴わない
- 有限の財・資源の分配
 - 領土紛争、NPT、政治体制の争いなど

26

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

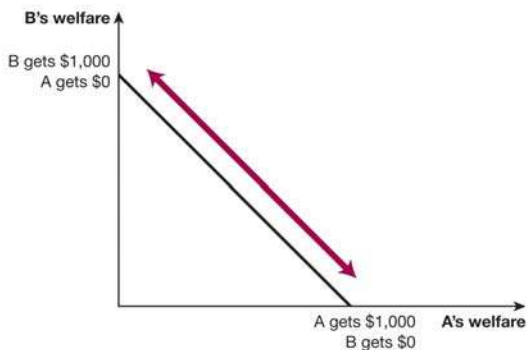


Figure 2.2: Bargaining

27

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉の過程・帰結】

- 交渉の過程は、交渉の帰結を規定する、交渉力により規定
- 交渉力の重要な源泉： **Reversion point (outcome)**
= 交渉が失敗した際の帰結
 - 交渉の失敗は、概ね「現状」の存続
 - Reversion point への耐性 ⇒ 交渉力
 - 交渉力 = 譲歩を引き出す力
- 例：なぜ日本（韓国・中国←パッケージ契約）の重油購入価格が高騰しているのか？ 震災と原発停止

28

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉力の操作と交渉術】

- Reversion point の操作・変更 ⇒ 交渉力向上
 - 強制力 Coercion
 - 議題操作 Agenda setting
 - Outside option

29

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉のArtとしての強制力】

- 強制外交 coercive diplomacyでは、軍事力が重要な交渉力の源泉
- 相手国との相対的な軍事力の大きさ（×絶対利得）



30

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉のArtとしての強制力】

- 相手国に対するコストの創出とその威嚇
⇒ 相手国のReversion Pointを変更し、行動も変える

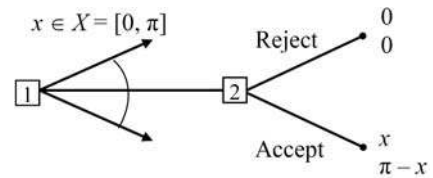
- 軍事力
- 経済制裁
- 痛めつける力

The power to hurt

(by Thomas Schelling 1966, ch. 1)

- 強制力を駆使した交渉をCoercive bargainingという³¹

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

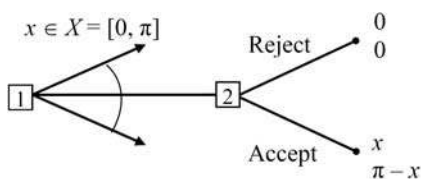


最後通牒ゲーム Ultimatum Game (Take-it-or-leave-it bargaining game)

- 何かしらの財 $X \in [0, \pi]$ を分け合う (分配)
- 1国は自国の取り分を x 、2国の取り分を $\pi - x$ と提案
- **Reversion point**: 合意に至らず、何も分配がない **(0, 0)**
⇒ Disagreementのこと

32

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

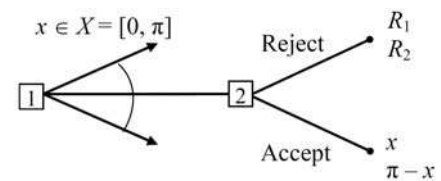


最後通牒ゲームの部分ゲーム完全均衡：

- 1国の最適オファーは $x^* = \pi$
- 2国はいかなる $x \geq 0$ も受入れ
→ 1国の議題設定有利

33

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

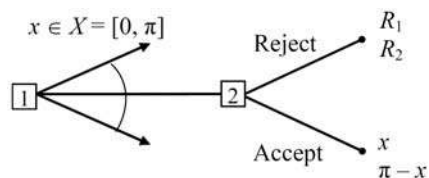


最後通牒ゲームのReversion pointを変更

- ⇒ 合意に至らない場合は利得は **0** ではなく、 R_i が実現
- 素直な例は、**Reversion point**は**現状**であり、したがって、**現状の変更**を1国が求めている交渉である。
- したがって、不合意の時は、**現状維持**

34

戦略的相互作用：交渉 Bargaining



最後通牒ゲームのReversion pointを変更

部分ゲーム完全均衡：

- 1国の最適オファーは $x^* = \pi - R_2 \leftarrow R_2$ の魅力を下げればよい
- 2国はどんな $x \geq \pi - R_2$ も受入れ $\leftarrow R_2$ の価値を上げればよい
⇒ R = 現状だとしたら、この設定では現状変更はならず
⇒ R_2 の大きさが、交渉力を変える

35

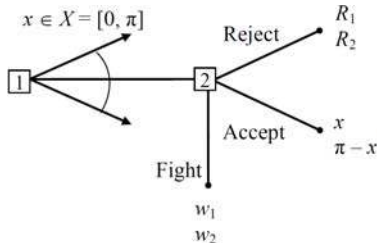
戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉のArtとしてのOutside Option】

- 交渉に代わる手段・選択肢
- 交渉テーブルを蹴って、交渉をやめる手段
- Reversion point はOutside optionより劣ることもある
- 交渉相手国のインセンティブを操作し、譲歩を強要する手段
- 例： 軍事力行使や経済制裁発動はOutside option

36

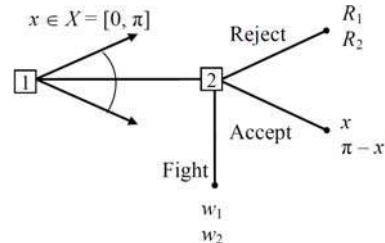
戦略的相互作用：交渉 Bargaining



最後通牒ゲームにOutside option（武力攻撃）を追加

- 2国は合意・不合意に加えて武力行使が出来る
- ただし、武力は、財を破壊する: $w_1 + w_2 < \pi$
- 武力が交渉に影響を与える？現状の価値と比較衡量³⁷

戦略的相互作用：交渉 Bargaining



帰結は、**Outside option**と**Reversion point**によって規定部分ゲーム完全均衡点：

- Reversion pointと対価の交渉点 $x^* = \pi - R_2$ if $R_2 < w_2$
- 武力行使と対価の交渉点 $x^* = \pi - w_2$ if $w_2 < R_2$

38

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉のArtとしての議題操作の例】

1. 先手必勝(First-mover advantage)
2. 交渉過程(プロトコル)の操作により、交渉の行方の操作
3. 交渉の開始以前や交渉中にとりうる戦術
4. 交渉テーブルの遡上に乗る議題や選択肢を制限する効果

→ なぜ議事運営委員会・議長は大事か

→ 国際司法裁判所でも審議の大半は審判前交渉での「現状」の確認・合意

Whereas an outside option is exercised after bargaining fails, agenda setting consists of actions taken before or during bargaining that make the reversion outcome more favorable for one party. For example, by sponsoring legislative proposals, calling public attention to issues, and cajoling individual legislators, the president of the United States has important agenda-setting power in Congress. Faced with a presidential proposal or a presidentially inspired public outcry, legislators often have little choice but to respond to the president's initiative; they do not necessarily have to agree with the president's proposal, but they must respond to an issue they might otherwise have preferred to avoid. In the Iraq War, the United States exercised its agenda-setting power both by bringing the inspection issue before the UN Security Council and by unilaterally initiating a war against Iraq, to which other countries were then forced to respond.

戦略的相互作用：協力と交渉

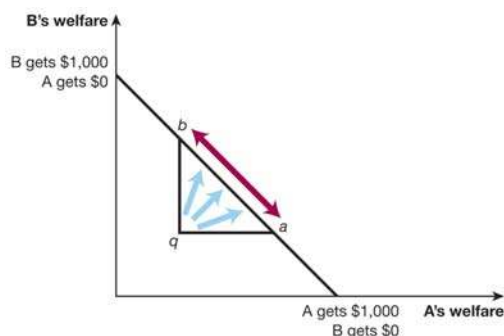


Figure 2.3: Cooperation and Bargaining

41

戦略的相互作用：交渉 Bargaining

【交渉による妥結: Theory】

- 交渉妥結が、全てのアクターにとって、Reversion pointより利得を向上すれば、交渉妥結は可能
- 交渉の結果が、**耐えがたき譲歩**を伴うとしても、交渉の失敗は、**より深い痛み**を伴うこともある(多い)
 - 停戦合意
 - 終戦協定
 - 完全降伏
 - Agree to disagree

40

制度 Institutions



42

制度 Institutions

【制度】とは

相互作用を規定する、ルールや規範の集合

- 国家の選択肢を制限することもある
- 国家間の合意の範囲を拡大することもある
- Formalな制度：意思決定機関；成文化されたルール
- Informalな制度：規範や暗黙の行動基準、行動パターン

【国際制度】の特徴

アナーキーにおいて、強制メカニズムを持たない

43

制度 Institutions

【国際制度】の機能

役割・機能が、その存在意義を規定

1. 国際協力の促進
2. 国家間の集合行為問題の克服
3. 紛争の解決

⇒ 国際協力の促進の鍵を体現

- 小グループ
- 繰り返しゲームとリンケージ
- 情報収集と集約

44

anarchy

制度 Institutions

【国際制度の機能1：国際協力】

- 国際制度が存続 ⇒ ルールが自己強制的
- 自己強制的でない組織は存続していないはず
- ルールに基づく行動(履行)は、ルールを強化
- 規範(Informal 制度)は、他国の行動を予測させる
- 明確な行動基準・規範は、正当性に関する不確実性を除去
- 例
 - 集団的安全保障に関わる合意(国連憲章など)は、平和と安定への脅威の特定に資する
 - 貿易に関する合意は、非合法的な貿易慣行やそれに対する制裁を明らかにする

45

制度 Institutions

【国際制度の機能2：国際制度と集合行為問題の克服】

- 制度：協調／協同問題克服をエンジニアリング
 - 例：国連安保理：集団的安全保障としてのPKO
- 制度による履行の監視・検証と、逸脱者への制裁
- 「強制“Enforcement”」が国際協調への鍵
 - 強制(とそれに伴う制裁)自体が公共財
 - その公共財の搬出には協同が必要
 - 失敗例としての国際連盟（伊のエチオピア侵攻）

46

制度 Institutions

【国際制度の機能3：国際制度による紛争解決】

Function

Examples

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| • 行動基準・規範の設定： | 国連人権理事会・条約 |
| • 履行問題の監視・検証： | 核不拡散条約(NPT) |
| • 交渉プロトコルの設定： | 世界貿易機構(WTO) |
| • 国際紛争の仲裁・解決： | 国際司法裁判所
常設仲裁裁判所
国際海洋法裁判所 |

Set standards of behavior (avoid informational asymmetry)
Verify compliance (ensure commitment, reduce uncertainty)
Reduce costs of joint decision making
Resolving disputes (easier outcome prediction and preference analysis)

47

制度 Institutions

【なぜ国際制度なのか？】

- 協力問題や交渉問題を克服する手立ては困難
 - 困難 = 取引費用の問題や、メタ制裁の必要性
- 国際制度：取引費用の低減、メタ制裁の内在化
 - ルールに関する争いを事前解決
 - ルール違反の発見とその情報共有
 - 強制メカニズムの自動化
 - 違反(e.g., 貿易障壁)に対する制裁は違反行為(e.g., 貿易障壁)を要請するが、制裁としての違反行為を合法化
- 明確なルールほど履行確保を促進

48

制度 Institutions

【国際制度は善か悪か？美しいか醜いか？】

- 国際制度は不偏不党からほど遠い
- 既存の政治・経済・軍事・金融力を反映
- 特定の国家の利益を優先する場合が過半
 - NPTは、核兵器保有国の既得権益を維持
 - 世銀・IMFは、借入国よりも融資国の意向を優先
- 国際制度自体が、多くの紛争を生む現実
- 国際ルールへの不履行を生むインセンティブ

49

制度 Institutions

【国際制度は既存の政治権力の制度化】

国際制度の多くは、歴史の産物

- 特定の政治の帰結
 - 国際連合
 - 安全保障理事会
 - NPT
- 特定の交渉の結果による合意
 - WTO（GATT の交渉結果として設立）
- 既存の慣行の成文化・制度化

50

制度 Institutions

【国際制度は政治的で中立でもない】

- しかし、履行率が高い
- 政治力・経済力を持つ国による弱小国への譲歩も多い
- Why?

- 国際組織は限定的ではあるが国際協調に寄与
- 既存の枠組みを用いる合理性
 - 国際組織の不在：国際協力は困難
 - 国際組織が不在：取引費用が膨大

⇒ 大国にとっても小国にとってもそれなりの便益

⇒ Better than nothing = Pareto improvement

51

Members follow rules because even if a certain set of policies/rules is against their interest, they benefit more from the general cooperation made possible by the Institution. Furthermore, following the rules may be less costly than making new rules, if the rules only cause a minor inconvenience.